

一般社団法人日本液晶学会 2015年度第1回理事会議事録

日 時：2015年9月9日 12:15 – 13:25

会 場：東京工業大学すずかけ台キャンパス R2棟像情報大会議室（横浜市緑区）

出席者：[2015年度役員]清水 洋，袋 裕善，岸川圭希，石川 謙，山本 潤，高橋泰樹，諏訪俊一，尾崎良太郎，福田順一，佐々木健夫，西山伊佐，徳久博昭，後藤泰行，内藤裕義，[前役員] 齋藤一弥，橋本雅司，舟橋正浩，渡辺順次

[情報委員会] 森武 洋

[事務局] 鈴木美保子

欠席者：[2015年度役員] 藤掛英夫，宮地弘一，[前役員] 山口留美子，辻 知宏

（以上、敬称略）

議事

1. 任務分掌（会長）

各理事・監査の任務分掌が行われ、それぞれの任務が説明され、了承された

2. 年間スケジュールと理事会日程の決定（総務）

年間スケジュールが説明され、理事会日程が決められた

3. 昨年度の学会理事会実施内容と今後（会長）

1) 2015年度実績

①財政健全化（黒字化）…会費増額、事務局の変更、討論会に国際セッション併設し補助金を獲得、学会誌「液晶」の電子化、理事会定員の削減

②組織機能の強化…HP運営の変更と電子化促進、委員会運営の弾力化（定款53条一項の変更）

③国際化の推進…2nd Asian Liquid Crystal Conference（釜山）への参加、Liquid Crystal Conference(2018ILCC)の招致と組織委員会の発足、2nd International Conference on Photoalignment (PhoSM2016)の共催

2) 2016年度方針

①財政健全化…理事定員の追加的削減検討、サマースクール代替授業の試行

②組織機能の強化…各委員会機能の確認と定常化、各種会員サービスのあり方の整理と対応策

③国際化の推進…3rd Asian Liquid Crystal Conference（台湾、2017年1月）への参加呼び掛け、2018ILCCの開催準備、PhoSM2016の開催、日本液晶学会討論会の国際化

④学術推進の推進…フォーラム活動の再検討

4. 昨年度の決定事項と新年度の活動について（各理事・監事）

1) 2014年度決定事項

（副会長）

- ・2015年度新役員、代議員候補者の選出
- ・2015年度学会賞候補者の選出
- ・将来構想委員会の設置

（総務）

- ・アドスリーから国際文献社への事務局を移転
- ・毎年度第4回理事会で会費未払い会員の除籍処分を行うことを決定

(財務)

- ・オンライン化にともなう新広告料の決定し、契約・請求は財務を担当窓口とした
- ・会費納入と会計年度の不一致に整合するよう「前受け会費」を導入

(編集・情報)

- ・学会誌「液晶」の電子化し、冊子体を年間 5000 円（4 冊、送料込）とした。新規広告は代理店を入れずに行うこととした
- ・「液晶」過去記事掲載準備を承認
- ・学会賞記事（7月号）と名誉会員紹介記事を別の号とした

(行事)

- ・虹彩賞基準案について検討した
- ・大阪工業大学石原教授に、2016 年液晶討論会開催を快諾いただいた
- ・PHOSM2016 と ILCC2018 において日本液晶学会の窓口となることとなった

(研究会・国際)

- ・小サマースクールを日本液晶学会主催事業とした。2016 年は関東地区で開催
- ・2016 年度 2017 年度に液晶基礎講座を開催することとした
- ・PHOSM2016 と ILCC2018 を日本液晶学会主催で開催することとした

2) 継続する課題

(副会長)

- ・学会賞においては、より多くの候補者が集まるように募集方法を再検討する。
- ・将来構想委員会での意見交換

(総務)

- ・表彰においては、経費削減のため、個人賞メダルの廃止を検討。
- ・選挙準備や開票作業を効率化する方法を検討する。電子投票についても検討する
- ・会費未払いを認識してもらう仕組み作りを検討する

(財務)

- ・会計年度、会費納入時期、総会開催時期、監査時期などを再考する

(編集・情報)

- ・情報理事と編集理事を兼務すべきかを検討する
- ・新規広告の取り方を検討する

(行事)

- ・2017 年討論会候補地の決定、2018 年以降の開催候補地のリスト化
- ・虹彩賞基準の作成

(研究会・国際)

- ・フォーラム活動の活性化

(監事)

会計年度と会員の有資格期間のずれを是正する必要がある